

財 産 目 録

令和2年3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金		—		—	—	100,000
預貯金	北洋銀行 道庁支店					7,010,067,662
	北海道銀行 札幌駅前支店					1,481,217,236
	三井住友信託銀行札幌支店					79,782
	ゆうちょ銀行					164,004,526
	小計					8,655,469,206
有価証券		—	平成14年度第9回国債、他	—	—	1,199,740,000
事業未収金		—	受託金精算差額未収計上、他	—	—	312,469
未収金		—	福祉サービス利用料、他	—	—	19,458,740
未収補助金		—	北海道補助金未収計上、他	—	—	41,927,755
未収収益		—		—	—	
未収貸付金利息		—	3月分未収貸付金利息回収額、他	—	—	16,058,511
	小計					16,058,511
商品・製品		—	収益事業区分商品	—	—	619,481
立替金		—	3月分社保料、他	—	—	255,368
前払金		—	電話交換設備リース料、他	—	—	506,478
生活福祉資金会計貸付金						
生活福祉資金貸付事務費		—		—	—	28,935,395
	小計					28,935,395
仮払金						
その他の仮払		—	相続財産管理人選任に係る予納金、他	—	—	4,730,014
	小計					4,730,014
その他の流動資産		—	生活福祉資金事務費会計充当分繰入、他	—	—	28,950,327
流動資産合計						9,997,063,744
2 固定資産						
(1) 基本財産						
定期預金		—		—	—	3,000,000
基本財産合計						3,000,000
(2) その他の固定資産						
器具及び備品	札幌市中央区北2条西7丁目1	—	デスクトップPC、他	40,309,224	37,862,366	2,446,858
権利	場所	—	電話加入権	2,935,008	0	2,935,008
ソフトウェア	場所	—	サイボウズライセンス、他	2,495,880	1,539,126	956,754
投資有価証券						
北海道社会福祉基金		—	平成14年度第9回国債、他	—	—	232,488,325
前田社会福祉基金		—	平成25年度第145回国債	—	—	20,320,000
丸井今井福祉基金		—	平成25年度第145回国債	—	—	5,000,000
土屋生涯福祉基金		—	平成25年度第145回国債	—	—	20,000,000
HBC社会福祉基金		—	平成25年度第145回国債、他	—	—	107,743,767
吉田・飯塚・長瀬基金		—	平成25年度第145回国債	—	—	160,000
	小計					385,712,092
長期貸付金			道費等原資による各種貸付金			
特別生活資金貸付金		—		—	—	14,118,450
有珠山噴火被災者援護特別資金貸付金		—		—	—	2,630,690
特別緊急小口資金貸付金		—		—	—	1,653,210
胆振東部地震特別緊急小口資金貸付金		—		—	—	15,430,000
介護福祉士等修学資金貸付金		—		—	—	248,477,972
保育士修学資金貸付金		—		—	—	129,263,257
新・介護福祉士等修学資金貸付金		—		—	—	497,820,950
介護福祉実務者貸付金		—		—	—	28,151,999
再就職準備金貸付金		—		—	—	3,106,000
児童養護施設退所者等自立支援資金貸付		—		—	—	29,142,932

財 産 目 録

令和2年3月31日 現在

(単位：円)

新・保育士修学資金貸付事業	—		—	—	386,686,984
総合支援資金貸付金	—		—	—	429,410,022
福祉資金貸付金	—		—	—	188,273,600
教育支援資金貸付金	—		—	—	2,829,617,619
不動産担保型生活資金貸付金	—		—	—	142,027,738
離職者支援資金貸付金	—		—	—	50,360,422
障害者更生資金貸付金	—		—	—	18,293,543
福祉資金（住宅）貸付金	—		—	—	5,336,954
要保護世帯向け不動産担保型生活資金貸付金	—		—	—	262,782,516
要保護世帯向け不動産担保型生活資金（指	—		—	—	181,188,002
臨時つなぎ資金貸付金	—		—	—	9,829,665
		小計			5,473,602,525
長期滞留債権		(生活福祉資金)			
総合支援資金貸付金	—		—	—	968,841,964
福祉資金貸付金	—		—	—	220,836,771
教育支援資金貸付金	—		—	—	1,491,975,521
離職者支援資金貸付金	—		—	—	349,652,526
障害者更生資金貸付金	—		—	—	23,968,468
生活資金貸付金	—		—	—	2,383,742
福祉資金（住宅）貸付金	—		—	—	12,335,225
		小計			3,069,994,217
生活福祉資金会計長期貸付金					
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	—		—	—	800,000,000
		小計			800,000,000
退職手当積立基金預け金	—	北海道民間社会福祉事業職員共済会会員出資金	—	—	83,744,385
退職給付引当資産	—		—	—	74,631,637
社会福祉総合基金積立資産					
北海道社会福祉基金	—		—	—	80,641,672
前田社会福祉基金	—		—	—	9,677
HBC社会福祉基金	—		—	—	6,233
吉田・飯塚・長瀬基金	—		—	—	105,305,184
		小計			185,962,766
ボランティア積立資産	—		—	—	4,807,151
災害支援対策積立資産	—		—	—	3,744,531
法人運営積立資産	—		—	—	98,541,777
社会福祉施設部会運営資金積立資産	—		—	—	2,300,000
法人部会運営資金積立資産	—		—	—	1,267,067
欠損補てん積立特定資産	—		—	—	
新 欠損補てん積立特定資産	—		—	—	1,087,772,191
		小計			1,087,772,191
△徴収不能引当金	—	貸付金の償還免除	—	—	-428,922,024
		その他の固定資産合計			10,849,496,935
		固定資産合計			10,852,496,935
		資産合計			20,849,560,679
II 負債の部					
1 流動負債					
事業未払金					
未払金	—	3月分社保料、他	—	—	44,943,000
未払法人税等	—	R1法人税、他	—	—	2,556,800
		小計			47,499,800
その他の未払金	—	労働保険料/個人負担分、他	—	—	7,301,292
一般会計借入金	—		—	—	
法人本部運営事業	—		—	—	500,000
		小計			500,000

財 産 目 録

令和2年3月31日 現在

(単位：円)

1年以内支払予定長期未払金	-	貸付原資返還/教育支援資金	-	-	58,000,000
預り金	-	受託金不用額、他	-	-	13,902,175
職員預り金					
所得税・道市民税預り金	-	3月分所得税、他	-	-	4,758,639
社保料預り金	-	3月分社保料、他	-	-	833,526
共済掛金・償還金預り金	-	民間共済会個人出資金(育児休暇職員分)、他	-	-	15,795
その他の預り金	-	職員慶弔費、他	-	-	149,118
		小計			5,757,078
前受金	-	償還金、他	-	-	13,788
生活福祉資金会計借入金					
生活福祉資金	-		-	-	28,435,395
		小計			28,435,395
賞与引当金	-		-	-	15,041,939
その他の流動負債	-	法人運営積立資産への積立未積立取扱分、他	-	-	57,568,379
流動負債合計					234,019,846
2 固定負債					
生活福祉資金会計長期借入金					
生活福祉資金	-		-	-	800,000,000
		小計			800,000,000
退職給付引当金					
法人負担分	-	退職給与引当金	-	-	193,372,862
退職共済分	-	同上(うち、民間共済会会員出資金分)	-	-	83,744,385
		小計			277,117,247
長期未払金	-		-	-	177,217,000
固定負債合計					1,254,334,247
負債合計					1,488,354,093
差引純資産					19,361,206,586

(記載上の留意事項)

- ・土地、建物が複数ある場合には、科目を拠点区分毎に分けて記載するものとする。
- ・同一の科目について控除対象財産に該当し得るものと、該当し得ないものが含まれる場合には、分けて記載するものとする。
- ・科目を分けて記載した場合は、小計欄を設けて、「貸借対照表価額」欄と一致させる。
- ・「使用目的等」欄には、社会福祉法第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定に必要な控除対象財産の判定を行うため、各資産の使用目的を簡潔に記載する。
- なお、負債については、「使用目的等」欄の記載を要しない。
- ・「貸借対照表価額」欄は、「取得価額」欄と「減価償却累計額」欄の差額と同額になることに留意する。
- ・建物についてのみ「取得年度」欄を記載する。
- ・減価償却資産(有形固定資産に限る)については、「減価償却累計額」欄を記載する。なお、減価償却累計額には、減損損失累計額を含むものとする。
- また、ソフトウェアについては、取得価額から貸借対照表価額を控除して得た額を「減価償却累計額」欄に記載する。
- ・車輛運搬具の〇〇には会社名と車種を記載すること。車輛番号は任意記載とする。
- ・預金に関する口座番号は任意記載とする。